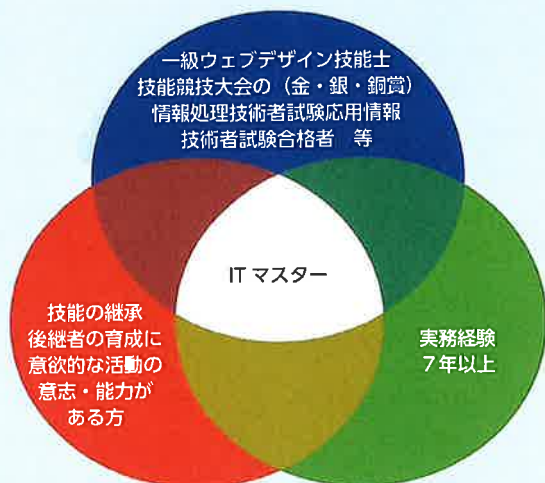
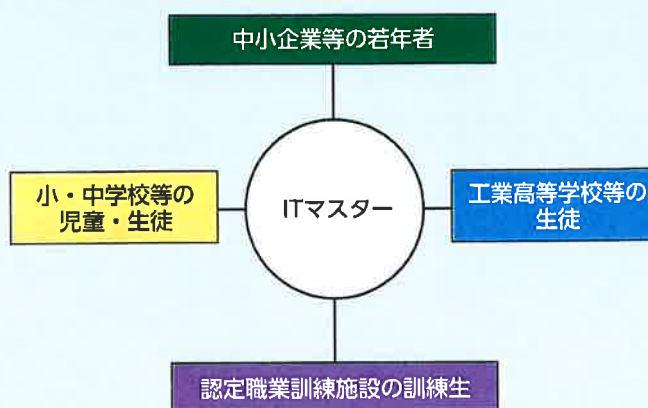


厚生労働省 ITマスター募集開始

ITマスターはどんな人？



ITマスターの指導や体験を
受けられるのはどんな人？



ITマスター 認定基準

IT マスターは、別表 1 左欄各号に掲げる職種（以下「認定対象職種」という。）ごとに、次の①から③までのすべての要件を満たす者とする。

- ① 入職からの実務経験が通算 7 年以上（情報技術に係る修士課程を修了している場合には実務経験 5 年以上で可）
- ② 以下の情報技術関連に関する資格のいずれかを有する者
（職種ごとの認定基準に該当する資格は、別表 2 を参照）
 - ア 情報処理技術者試験応用情報技術者試験合格者
 - イ 技能検定（ウェブデザイン）1 級
 - ウ 上記ア、イに相当する資格を有する者（ITSS（※）のスキル習熟度レベル 3～4 に相当すること）
 - エ 上記の資格を有さない者については、技能五輪全国大会のウェブデザイン、若年者ものづくり競技大会の IT ネットワークシステム管理、ウェブデザイン、グラフィックデザイン、オフィスソフトウェア・ソリューション、ロボット組込の各職種で優秀な成績を収めた者（銅賞以上の入賞者）であること。
- ③ 技能の継承や後進者の育成に関して意欲を持って活動する意思及び能力がある者

（※）IT スキル標準：経済産業省が定めている個人の IT 関連能力を職種や専門分野ごとに明確化・体系化し、IT 人材に求められるスキルやキャリア（職業）を示した指標。

別表 1

I T マスター 認定対象職種

I T マスター 認定職種名	技能検定職種 (1 職種)	技能競技大会の競技職種 (5 職種)
(1) ウェブデザイン	ウェブデザイン	ウェブデザイン
(2) IT ネットワークシステム管理		IT ネットワークシステム管理
(3) グラフィックデザイン		グラフィックデザイン
(4) オフィスソフトウェア・ソリューション		オフィスソフトウェア・ソリューション
(5) ロボットソフト組込		ロボットソフト組込

別表 2

I T マスター職種別主な関連資格

職種名	資格	更新制度
(1) ウェブデザイン	情報処理技術者試験応用情報技術者試験	無
	技能検定ウェブデザイン 1 級	無
	HTML5 プロフェッショナル認定試験 Level.2	有(5年)
	PHP5 技術者認定 上級以上	無
(2) IT ネットワーク システム管理	情報処理技術者試験応用情報技術者試験	無
	情報処理技術者試験情報セキュリティスペシャリスト試験	無
	情報処理技術者試験情報データベーススペシャリスト試験	無
	情報処理技術者試験情報ネットワークスペシャリスト試験	無
	情報処理技術者試験情報プロジェクトマネージャ試験	無
	CCIE (Cisco Certified Internetwork Expert)	有(2年)
	CCNP (Cisco Certified Network Professional)	有(3年)
	LPIC (Linux 技術者認定) レベル 3	有(5年)
	MCITP(マイクロソフト認定 IT プロフェッショナル) MCSE(マイクロソフト認定ソリューションエキスパート)	無
	ORACLE MASTER Gold および Professional 以上 ORACLE Specialization / Expert 以上	無(再認定制度有)
(3) グラフィックデザイン	DTP エキスパート	有(2年)
	クロスメディアエキスパート	有(2年)
(4) オフィスソフトウェア・ ソリューション	情報処理技術者試験応用情報技術者試験	無
	情報処理技術者試験情報データベーススペシャリスト試験	無

職種名	資格	更新制度
	情報処理技術者試験情報プロジェクトマネージャ試験	無
	情報処理技術者試験情報システムアーキテクト試験	無
	MCITP(マイクロソフト認定 IT プロフェッショナル) MCSE(マイクロソフト認定ソリューションエキスパート) MCSD(マイクロソフト認定ソリューションデベロッパー)	無
	IT 検証技術者認定試験 中級 IT 検証技術者レベル 1 以上	無
	JCSQE(ソフトウェア品質技術者資格)中級	無
	ORACLE MASTER Gold および Professional 以上	無(再認定制度有)
	ORACLE Specialization / Expert 以上	
	(5) ロボットソフト組込	情報処理技術者試験応用情報技術者試験
情報処理技術者試験エンベッドシステムスペシャリスト試験		無

※更新制度のある職種については、認定申請時に有効期限内であること。

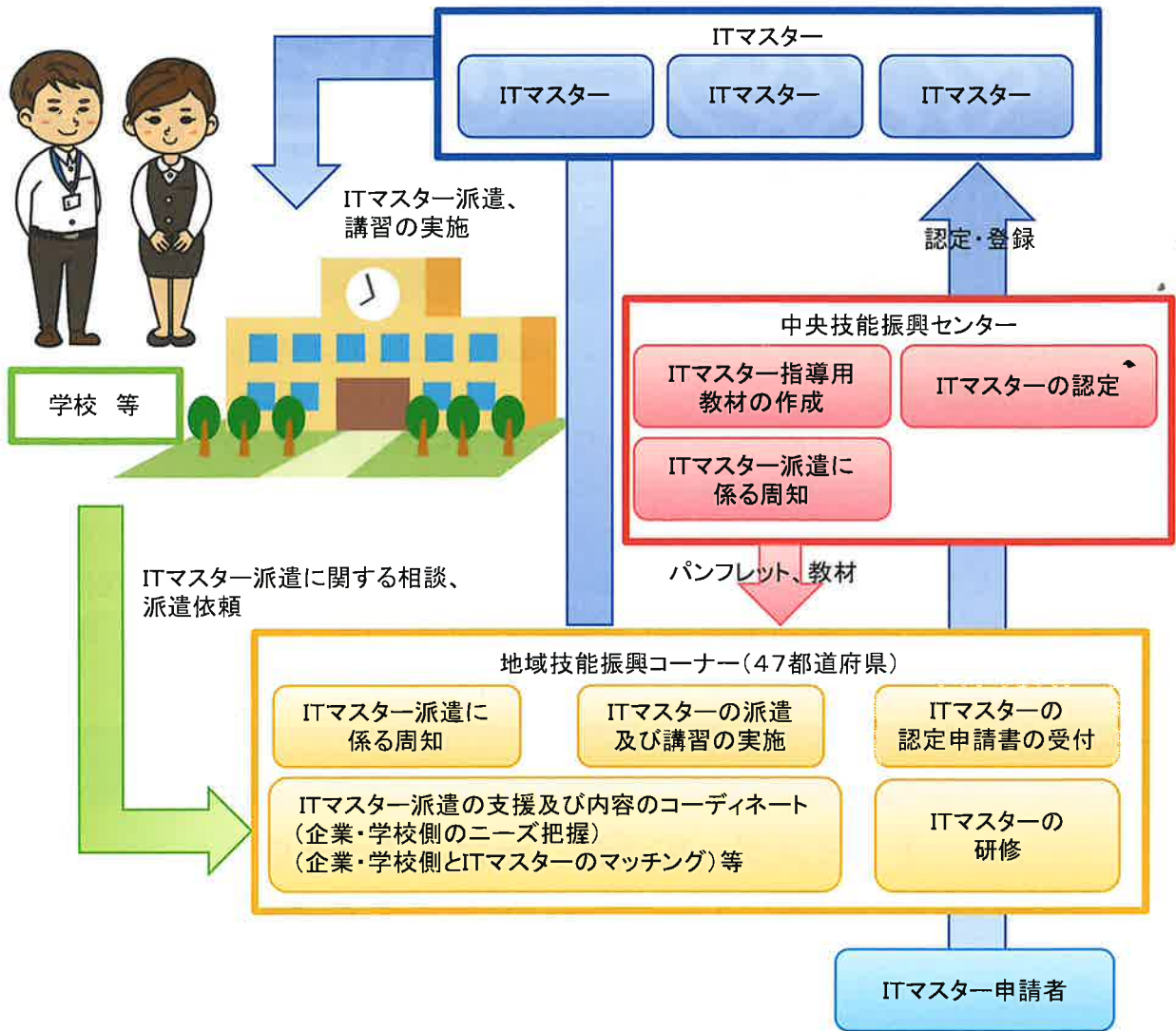
※情報処理技術者試験応用情報技術者試験については、制度改正前の試験（ソフトウェア開発技術者試験、第一種情報処理技術者試験、特殊情報処理技術者試験）でも可能。

IT マスターのお問い合わせは

**石川県職業能力開発協会
技能振興コーナー**

〒920-0862 金沢市芳齊1丁目15番15号
TEL076-254-6487 FAX076-262-3913

ITマスター派遣の仕組み



ITマスターが指導する対象分野は、以下の5職種です。

ウェブデザイン	ITネットワークシステム管理	グラフィックデザイン
オフィスソフトウェア・ソリューション	ロボットソフト組込	

ITマスターによる指導例

情報技術の基本を学びたい！

- ➡ ロボットを活用したプログラミングの概念、構造の理解

プログラミングやウェブ製作について学びたい！

- ➡ ウェブサイト製作、グラフィックデザイン、コンピューターグラフィックス製作

情報リテラシーについて学びたい！

- ➡ 情報リテラシー、サイバーセキュリティーの技術の学習

各段階に合ったカリキュラムをコーディネートし、講習等を実施します。

ITマスターは、技能検定の実技課題、技能競技大会の競技課題を用いて、中小企業の若年技能者、工業高校の生徒などに実技指導を行います。

技能検定及び技能競技大会については、「技のとびら」(<http://www.waza.javada.or.jp/>)をご参照ください。

ITマスターの指導では、以下のようなテキストを活用しながら分かりやすく説明します。(一部抜粋)

処理(しり)とは
・プログラムの中で入力された情報を計算したり変化させたりする事

入力 → プログラム → 出力

プログラミング教材
(小学生向け)

こんなものをうまく組み合わせて作るのが
グラフィックデザイン

文字 デザイン + 色 + 写真・絵

グラフィック教材
(小学生向け)

コンピュータのためのウェブデザイン

マークアップ
を体験してみよう!

ウェブデザイン教材
(小中学生向け)

CGってなんだろう?

- Computer Graphics (コンピュータグラフィックス)
 - そのまま静止とコンピュータ映像・画像
- コンピュータで画像や映像をつくらったり合成したりすること
- 映画やゲーム、アニメなどの映像や画像をつくらったり、映像や画像を合成したり、特殊効果(題見等)をつけたりすること
- 他にはみんなが知っている教科書や読んでいる雑誌、新聞などもCGの技術を使ってつくられている
- 仕事でCGを使うのは...
 - 仕事でコンピュータを使って映像や画像を様々につくりだすということ

グラフィック教材
(中学生向け)

情報リテラシーとは

リテラシー(literacy)=適切に理解し、使いこなせる能力

自身で情報を収集・判断・創造し、表現・処理することで
受け手の状況に合わせて発信・伝達できる能力

情報利用の流れ

収集 → 判断 → 創造 → 表現 → 処理 → 発信 → 伝達

情報セキュリティ教材
(中学生向け)

タグを実際に囲んでみましょう

- プリントの文章をタグで囲んでみましょう
- 見出し: `<h1> <h2> <h3>`
- ・`<h1>`今日のランチ`</h1>`
- ・段落: `<p>`
- ・強調: ``
- ・`<p>`3つの中から好きなものを``1つ``選ぶことが出来ます。`</p>`
- ・リスト: `` (全体) `` (1つずつに)
- `サンドイッチカレーライス`

ウェブデザイン教材
(高校生向け)

体験者の声

生徒の声

- プログラミングについて生活の中で使われていることなど、色々知ることができて良かった。
- もっと新しいプログラムを知りたい。動きをプログラミングしたい。
- 初めてロボットを動かすことができて楽しかった。ロボットの仕事にすごく興味を持った。
- すごく今後に活かせると思った。

先生の声

- 2020年からプログラミング教育が始まるようだが、どのようなものが少し見えてきました。
- 大変子供たちが喜んでいました。これから必要なことなので、続けてもらえると嬉しいです。
- 子供だけでなく、大人も引きつけられる内容でした。このような体験を子供達にたくさんさせたいと思いました。
- プログラムの構造が分かってきました。

